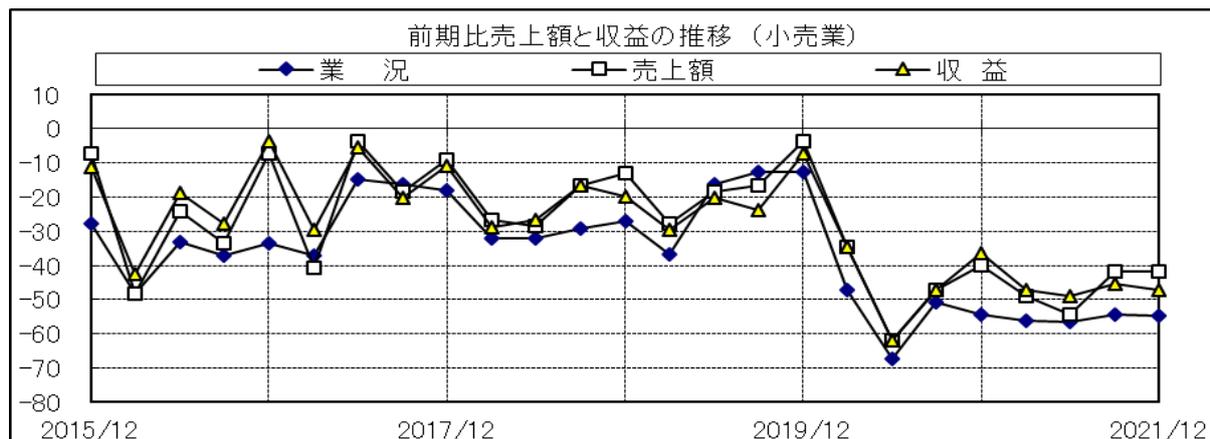


## 小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-56.4	-54.5	-54.6	-56.3
売上額	-54.5	-41.9	-41.9	-40.4
収益	-49.0	-45.4	-47.3	-41.9

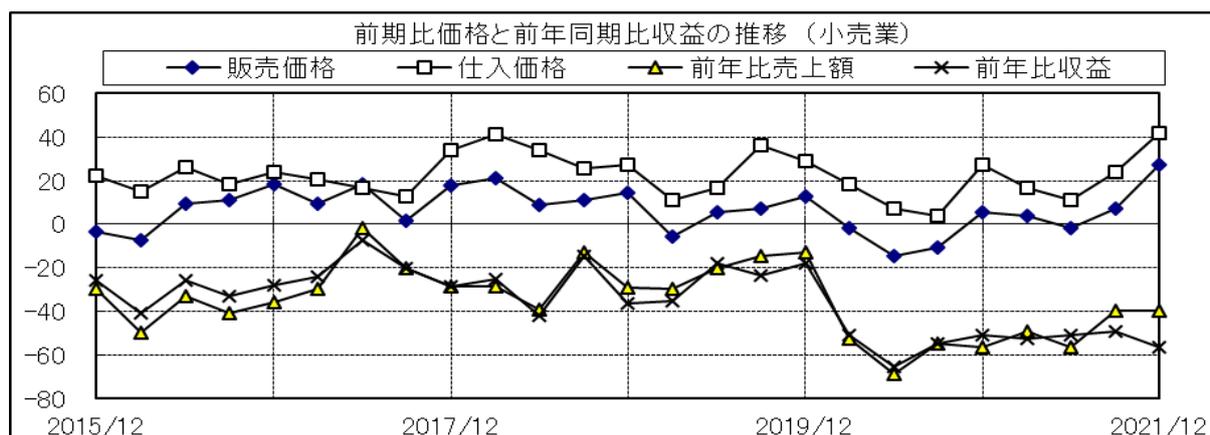
今期の業況判断 D. I. は△54.6 で、前期比 0.1 ポイント下降した。前年(△54.5)比 0.1 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に三石、様似、浦河、えりもと続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△41.9 で、前期と同水準となった。収益判断 D. I. は△47.3 で、前期比 1.9 ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	-1.8	7.3	27.3	16.4
仕入価格	10.9	23.7	41.7	34.6

販売価格判断 D. I. は 27.3 で、前期比 20.0 ポイント上昇し、前年(5.4)比 21.9 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 41.7 で前期比 18.0 ポイント上昇し、前年(27.3)比 14.4 ポイント上昇した。業種別の販売価格は、衣料・食品は上昇、家電は下降した。仕入価格は、衣料は下降、食料は上昇、家電は横這いとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-11.0	-3.6	-5.6	-11.0
人手状況	-12.7	-20.0	-23.6	-16.4

残業時間判断 D. I. は△5.6 で、前期比 2.0 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△23.6 で、前期比 3.6 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

## □ 設備投資の動き

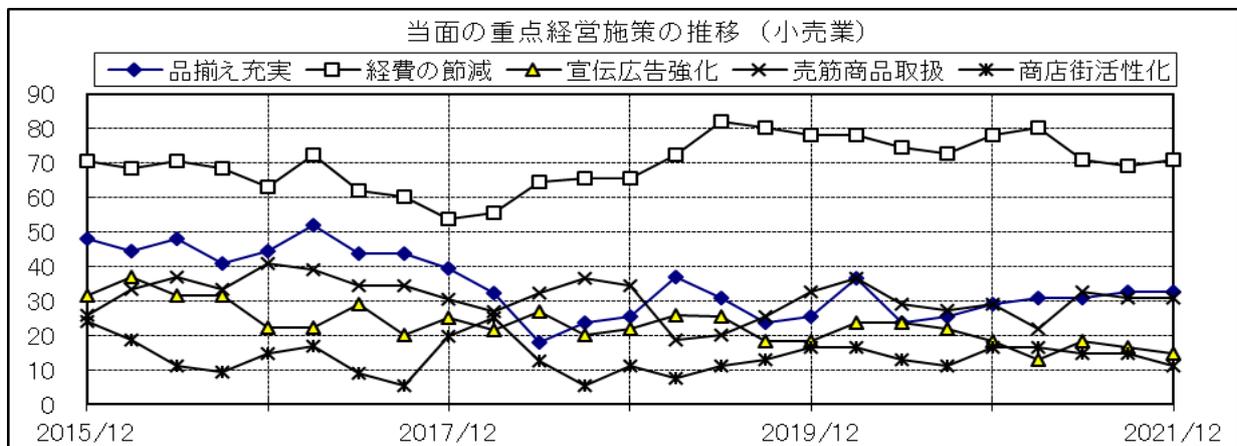
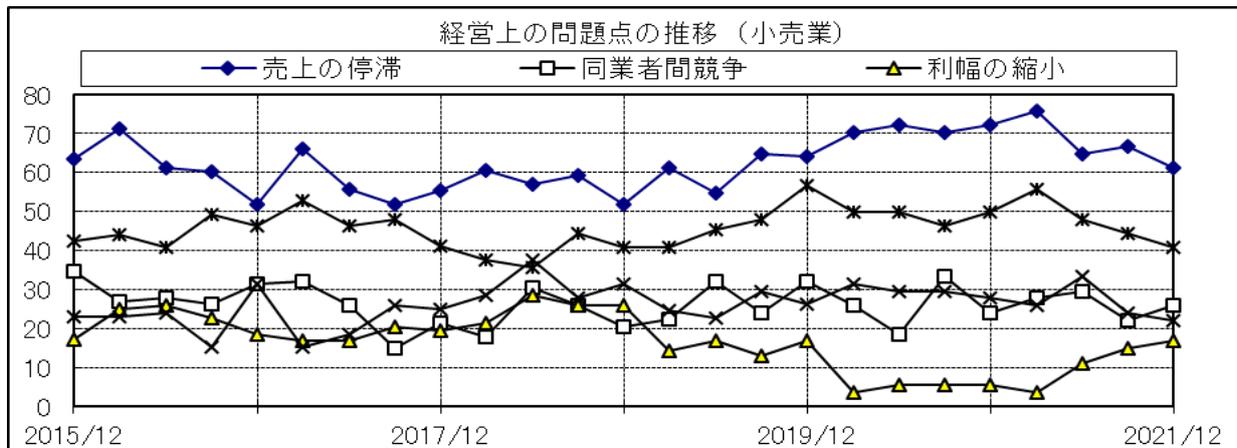
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 10.9$ で、前期( $\Delta 18.2$ )比7.3ポイント上昇した。

設備実施企業割合は18.2で、前期(9.1)比9.1ポイント上昇した。設備投資は、前期5社に対し10社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が61.1%と最も多く、次に「商圈人口減少」40.7%、「同業者競合」25.9%、「大型店競合」22.2%、「値上要請」18.5%、「利幅縮小」16.7%、「商店街集客力低下」13.0%、「人手不足」11.1%、「人件費増加」・「取引先減少」が9.3%、「販売商品不足」「天候不順」・「地場産業衰退」が7.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が70.9%と最も多く、次に「品揃え改善」32.7%、「売れ筋商品取扱い」30.9%、「人材確保」16.4%、「宣伝広告強化」14.5%、「店舗設備改装」12.7%、「商店街活性化」10.9%、「仕入先開拓選別」9.1%、「新事業開始」・「教育訓練強化」が5.5%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 56.3$ と、今期比1.7ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 40.4$ と、今期比1.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 41.9$ と、今期比5.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は16.4と、今期比10.9ポイントの下降を見通している。

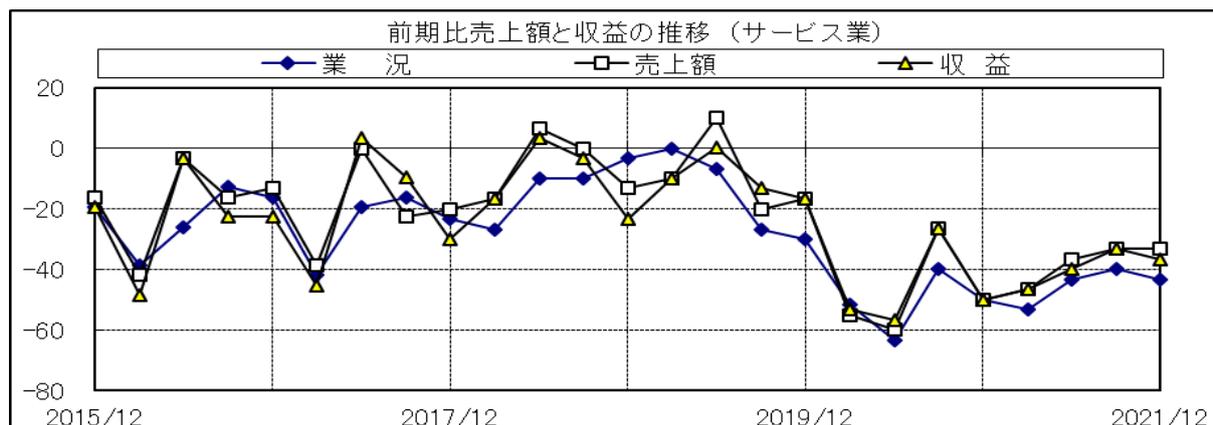
予想仕入価格判断D. I. は34.6と、今期比7.1ポイントの下降を見通している。

## サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-43.4	-40.0	-43.4	-46.6
売上額	-36.7	-33.3	-33.3	-36.7
収 益	-40.0	-33.3	-36.7	-43.3

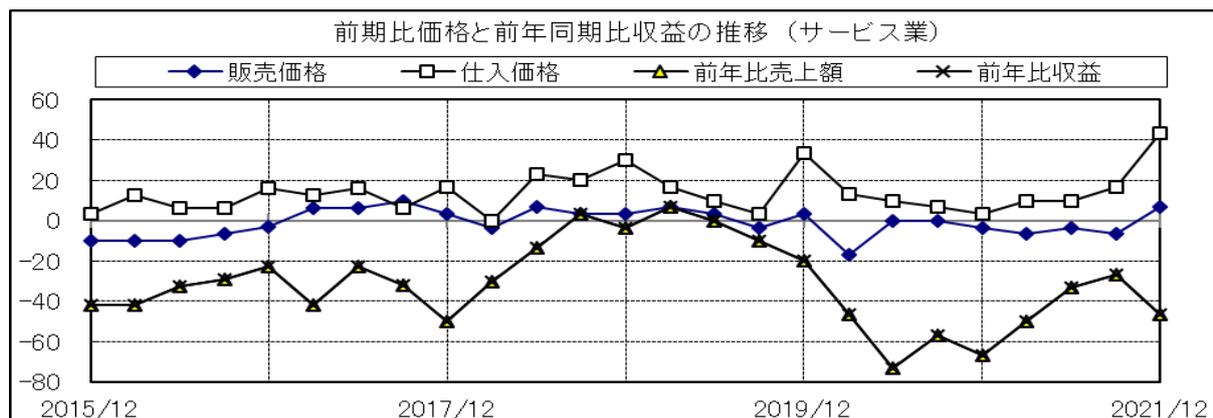
今期の業況判断 D. I. は  $\Delta 43.4$  で、前期比 3.4 ポイント下降し、前年 ( $\Delta 50.1$ ) 比 6.7 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に三石、浦河、広尾、様似と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は  $\Delta 33.3$  で、前期と同水準となった。収益判断 D. I. は  $\Delta 36.7$  で、前期比 3.4 ポイント下降した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
料金価格	-3.3	-6.6	6.7	6.7
材料価格	10.0	16.7	43.3	26.6

料金価格判断 D. I. は 6.7 で前期比 13.3 ポイント上昇した。前年 ( $\Delta 3.3$ ) 比 10.0 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 43.3 で、前期比 26.6 ポイント上昇した。前年 (3.4) 比 39.9 ポイント上昇した。業種別の料金・材料価格は、旅館業、洗濯理美容業、自動車整備業すべてで上昇している。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	-6.7	-10.1	-10.0	-16.7
人手状況	-16.7	-23.4	-40.0	-36.7

残業時間判断 D. I. は  $\Delta 10.0$  で、前期比 0.1 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は  $\Delta 40.0$  で、前期比 16.6 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

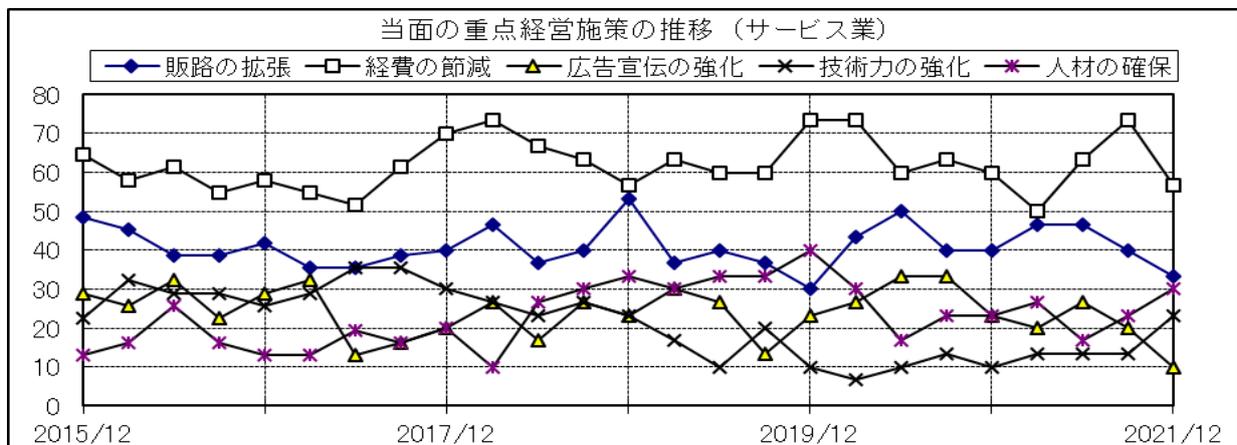
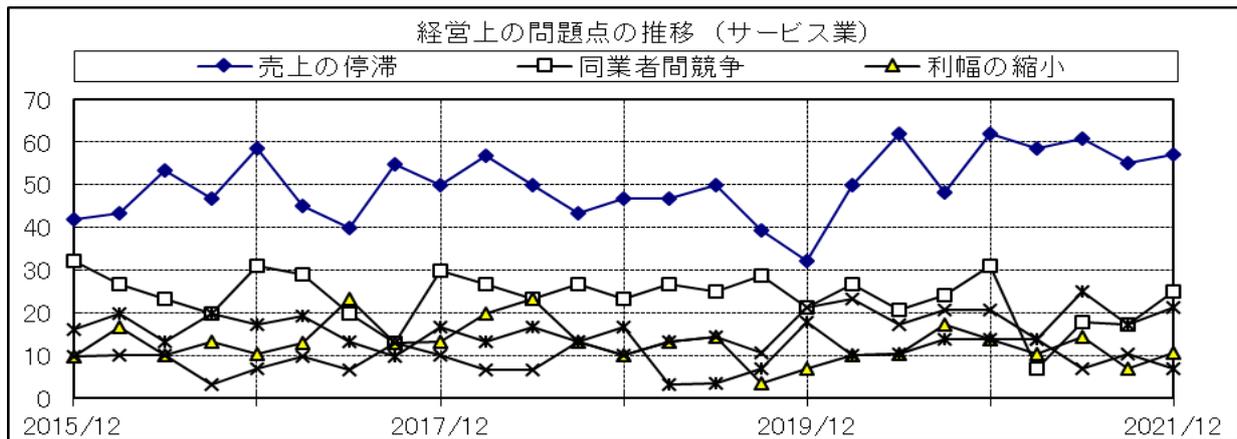
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 13.3$ で、前期( $\Delta 20.0$ )比6.7ポイント上昇した。  
設備投資実施企業割合は10.0で、前期(16.7)比6.7ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が57.1%と最も多く、次に「商圈人口減少」32.1%、「人手不足」28.6%、「同業者競争」25.0%、「地場産業衰退」21.4%、「材料価格上昇」17.9%、「取引先減少」14.3%、「利幅縮小」10.7%、「人件費増加」・「店舗設備老朽化」が7.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が56.7%と最も多く、次に「販路拡大」33.3%、「人材確保」30.0%、「技術力強化」23.3%、「教育訓練強化」16.7%、「宣伝広告強化」・「店舗設備改装」が10.0%、「労働条件改善」6.7%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 46.6$ と、今期比3.2ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 36.7$ と、今期比3.4ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 43.3$ と、今期比6.6ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は6.7と、今期と同水準を見通している。

予想材料価格判断D.I.は26.6と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。